

区分	電気バス	プラグインハイブリッドバス	燃料電池バス
			
サイズ	コミュニティバス～大型	中型	大型
動力等	充電→蓄電池→モーター	軽油→エンジン + 充電・発電→蓄電池→モーター	水素→燃料電池→モーター
車両価格	約6,000万～1億円	約6,500万円	約1億円
航続距離	約30～250km	EV走行約15km、HV走行約300km	約200km
必要物	電気	軽油、電気	水素
補給方法	普通充電、急速充電	給油所 普通充電、急速充電	水素ステーション
環境性能	非常に良い	良い	非常に良い

環境配慮型バスの車両の概要

区分	車名	車両サイズ	航続距離	乗車定員	補給設備	充電方式
電気バス (短距離走行、多頻度充電型)	日野ポンチョEV	小型	30km	36人	普通充電器 急速充電器	プラグイン方式
	日野レインボー（改造）	中型	40km	54人	普通充電器 急速充電器	プラグイン方式
	いすゞエルガミオ（改造）	中型	不明	49人	普通充電器 急速充電器	プラグイン方式
	いすゞエルガ（改造）	大型	53km	74人	普通充電器 急速充電器	プラグイン方式
電気バス (長距離走行、夜行充電型)	BYD K9 (BYDジャパン)	大型	250km	69人	普通充電器 急速充電器	プラグイン方式
プラグインハイブリッドバス	日野メルファ プラグインハイブリッド	中型	EV走行 15km ハイブリッド走行 300km	33人	普通充電器 急速充電器 軽油スタンド	プラグイン方式
燃料電池バス	SORA (トヨタ自動車)	大型	200km	77人	水素ステーション	-

環境配慮型バスの車両導入の事例

	導入地域	導入事業者	導入車両	導入メリット	導入課題
電気バス	東京都羽村市	西東京バス(株)	日野ポンチョEV	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と地域のイメージアップ ・車内の騒音、振動が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走行が困難 ・充電設備などインフラ整備が必要
	東京都港区	(株)フジエクスプレス	日野ポンチョ(改造)	<ul style="list-style-type: none"> ・車内の騒音、振動が少ない ・ディーゼルバスに比べ整備が容易で費用も安価 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房使用時は蓄電池残量に注意が必要
	岩手県宮古市	岩手県北自動車(株)	日野レインボー(改造)	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼルバスに比べランニングコストが安価 ・ディーゼルバスに比べ整備費が安価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼルバスに比べ車両価格が高額
	宮城県気仙沼	東日本旅客鉄道(株)	いすゞエルガミオ(改造)	<ul style="list-style-type: none"> ・加速が良く、車内が静か ・企業のイメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・航続距離が短いため、運行ルートを選定が困難 ・故障時の部品の入手が困難
	三重県伊勢市	三重交通(株)	いすゞエルガ(改造)	<ul style="list-style-type: none"> ・市外、県外からの集客 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼルバスに比べ車両価格が高額
プラグインハイブリッドバス	埼玉県春日部市	平成エンタープライズ(株)	日野メルファプラグインハイブリッドバス	<ul style="list-style-type: none"> ・電動走行時の車内は静か ・乗客にはCSR（企業の社会的責任）として認知 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気走行時の航続距離が短い
燃料電池バス	東京都千代田区、中央区、江東区	東京都交通局	SORA	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の低減 ・車内の騒音、振動が少ない ・事業者のPR、イメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所近くに（複数箇所の）水素ステーションが必要

環境配慮型バス導入に係る補助事業

地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業

概要	地域交通のグリーン化のため、事業用として使用する次世代自動車及び充電設備（充電設置工事費を含む）の導入支援を実施
対象車両	電気バス、プラグインハイブリッドバスなど
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・車両本体価格（電気バス等への改造に要する経費含む） ・充電設備等（本体及び機器を構成するため必要な付属品、蓄電池、工事費含む）
補助率	1 / 3 ※充電設備等の工事費は実額（上限あり）
関係省庁	国土交通省 自動車局技術・環境政策課 北海道運輸局 自動車安全部整備・保安課
備考	令和4年度予算額：392百万円 令和3年度採択事業数：15（全国ベース）

環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業

概要	トラック・バスの運行における二酸化炭素の排出削減を図り、地球環境保全に資することを目的に、環境配慮型先進トラック・バスの導入支援を実施
対象車両	電気バス、電気トラックなど
補助対象経費（補助率）	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的燃費水準の車両価格との差額 2 / 3（プラグインハイブリッド自動車を含む電気自動車） 1 / 2（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車） ※車両の対象あり ・充電設備の価格及び充電設備工事費の 1 / 2（上限あり）
関係省庁	環境省 水・大気環境局自動車環境対策課 （国土交通省・経済産業省連携）
備考	令和4年度予算額：1,000百万円